

5日 土曜

ルカ

18:31 さてイエスは、十二弟子をそばに呼んで、彼らに話された。「さあ、これから、わたしたちはエルサレムに向かって行きます。人の子について預言者たちが書いているすべてのことが実現されるのです。

18:32 人の子は異邦人に引き渡され、そして彼らにあざけられ、はずかしめられ、つばきをかけられます。

18:33 彼らは人の子をむちで打ってから殺します。しかし、人の子は三日目によみがえります。」

18:34 しかし弟子たちには、これらのことが何一つわからなかった。彼らには、このことばは隠されていて、話された事が理解できなかった。

18:35 イエスがエリコに近づかれたころ、ある盲人が、道ばたにすわり、物ごいをしていた。

18:36 群衆が通って行くのを耳にして、これはいったい何事ですか、と尋ねた。

18:37 ナザレのイエスがお通りになるのだ、と知らせると、

18:38 彼は大声で、「ダビデの子のイエスさま。私をあわれんでください。」と言った。

18:39 彼を黙らせようとして、先頭にいた人々がたしなめたが、盲人は、ますます「ダビデの子よ。私をあわれんでください。」と叫び立てた。

18:40 イエスは立ち止まって、彼をそばに連れて来るように言いつけられた。

18:41 彼が近寄って来たので、「わたしに何をしてほしいのか。」と尋ねられると、彼は、「主よ。目が見えるようになることです。」

と言った。

18:42 イエスが彼に、「見えるようになれ。あなたの信仰があなたを直したのです。」と言われると、

18:43 彼はたちどころに目が見えるようになり、神をあがめながらイエスについて行った。これを見て民はみな神を賛美した。

19:1 それからイエスは、エリコにはいって、町をお通りになった。

19:2 ここには、ザアカイという人がいたが、彼は取税人のかしらで、金持ちであった。

19:3 彼は、イエスがどんな方か見ようとしたが、背が低かったので、群衆のために見るができなかった。

19:4 それで、イエスを見るために、前方に走り出て、いちじく桑の木に登った。ちょうどイエスがそこを通り過ぎようとしておられたからである。

19:5 イエスは、ちょうどそこに来られて、上を見上げて彼に言われた。「ザアカイ。急いで降りて来なさい。きょうは、あなたの家に泊まることにしてあるから。」

19:6 ザアカイは、急いで降りて来て、そして大喜びでイエスを迎えた。

19:7 これを見て、みなは、「あの方は罪人のところにやって客となられた。」と言ってつぶやいた。

19:8 ところがザアカイは立って、主に言った。「主よ。ご覧ください。私の財産の半分を貧しい人たちに施します。また、だからでも、私がだまし取った物は、四倍にして返します。」

19:9 イエスは、彼に言われた。「きょう、救いがこの家に来ました。この人もアブラハムの子なのでありますから。



19:10 人の子は、失われた人を捜して救うために来たのです。」

弟子たちはまだ信仰の目が開けていませんでしたが、この目の不自由な人は、見えるようになり、「イエスについて行った。」のです。初めは自分の願いでしたが、主の恵に感じて、喜んで自分をささげました。ここにクリスチャンの生き方が始まります。

願いがかなって、あとは自分の好きにやるようでは、イエス様を愛しているとは言えません。また次の願いごとはどうなるかは分かりません。恵に感謝しつつ、「神をあがめながら」、イエス様に「ついて行」きましょう。

ザアカイにとってはお金が一番大切でした。人生を守る保証が欲しかったのでしょう。しかしそれゆえ、彼は不正な取税人となり、金持ちではありましたが孤独でした。

イエス様はそのような彼の心にまでも寄り添ってくださる方でした。「あなたの家に泊まることにしてあるから」と、主は求める者と親しく交わってくださるのです。

イエス様と交わりましょう。そうすればその愛の御人格で、私たちは変わります。ザアカイも過去を悔い改めて、全く変わりました。私たちはもっとイエス様との人格的な交わりが必要かもしれません。

①神のみこころは？（信仰のあり方、希望の約束、愛の満ちしなど）

②どんな思いになりましたか？（感情や願いなど）

③生き方にどう適用しますか？（あなたのどの部分を主は扱おうとしておられますか）

④この世にあって何を実践しますか？